

一般の**社会人**が 金沢大学で**学ぶ**には…

— 生涯学習制度のあらまし —



1998
金沢大学



生涯学習へのお誘い

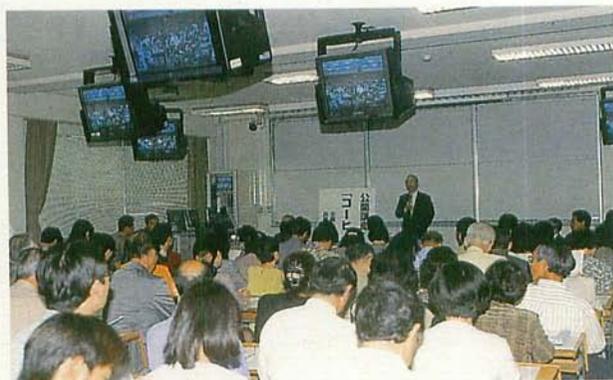
現在、私たちが暮らす社会は目まぐるしく変化しており、それに対応するために新しい知識・技術を絶えず身に付けていくことが求められています。また、個人生活において時間的なゆとりも生まれていることから、何かを学ぶことにより、心の豊かさを得ようとする人々が増えています。

このような皆様の声におこたえするため、金沢大学では、“社会人”として活躍されている方々が、大学で、より気軽に学ぶことができるよう、様々な制度を設けています。

“生涯学習時代”の今、皆様方がこれらの制度をご利用くださることを、心から期待しています。



和やかな雰囲気の中で討論する“社会人”学生



様々な年齢層の人々を集めて行われた公開講座「コーヒー学入門」の1コマ

あなたはどのコースを選びますか？

学ぶ目的に合わせて、あなたにぴったりのコースを見つけてください

目的

知識・技術をリフレッシュ
又は修得したい

興味ある分野について教養
を高めたい

学士・修士・博士の学位又は
各種職業資格などを取得
したい

民間企業等の立場で大学と
研究交流をしたい

金沢大学における制度

正 規 学 生
→ [4ページを参照]

科 目 等 履 修 生
→ [4ページを参照]

専 攻 生
→ [4ページを参照]

研 究 生
→ [4ページを参照]

公 開 講 座 受 講 生
→ [5ページを参照]

民 間 等 共 同 研 究 員
→ [5ページを参照]

受 託 研 究 員
→ [5ページを参照]

左に掲げた
各制度による
受入れ部局等



注1

上記のチャートの各コースには、一般の“社会人”向けの制度のみを掲げてありますが、このほかにも本学では、入学するために特定の身分・資格などを必要とする「病院研修生」なども受け入れています。

注2

「科目等履修生」に類する制度として、一部部局には「聴講生」の制度がありますが、履修後に単位を活用するためにも「科目等履修生」をお勧めします。

注3

3ページの「部局等名」については、キャンパス別に

角間キャンパス	宝町キャンパス
鶴間キャンパス	小立野キャンパス
米泉キャンパス	

の色分けを用いています。

部 局 等 名		各制度を利用する際の出願資格等 (記号については下欄注5・注6参照)				
		正規学生	科目等履修生	専攻生	研究生	
学部	文学部	人間学科 史学科 文学科	C	C	B	—
	教育学部	学校教育教員養成課程 障害児教育教員養成課程 人間環境課程 スポーツ科学課程	C	C	B	—
	法学部	法学科 公共システム学科	C	C	B	—
	経済学部	経済学科	C	C	B	—
	理学部	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 計算科学科	C	C	B	—
	医学部	医学科	C	—	—	—
		保健学科	C	C	B	—
	薬学部	薬学科 製薬化学科	C	C	B	—
	工学部	土木建設工学科 機能機械工学科 物質化学工学科 電気・情報工学科 人間・機械工学科 (工業教員養成課程)	C	C	—	—
	教養教育機構	(教養的科目)	—	C	—	—
大学院 修士 (博士前期) 課程	文学研究科*	哲学専攻 史学専攻 文学専攻	B	B	—	B
	教育学研究科*	学校教育専攻 国語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻 技術教育専攻 家政教育専攻 英語教育専攻 障害児教育専攻	B	B	—	A
	法学研究科*	法律学専攻	B	B	—	A
	経済学研究科*	経済学専攻	B	B	—	B
	自然科学研究科*	数物科学専攻 物質化学専攻 物質工学専攻 生命薬学専攻 医療薬学専攻 機械科学専攻 生命・地球学専攻 環境基盤工学専攻 電子情報システム専攻	B	B	—	B
大学院 博士 (後期) 課程	医学研究科	生理系専攻 病理系専攻 社会医学系専攻 内科系専攻 外科系専攻 分子情報医学系専攻	A, (B)	—	—	A, (B)
	社会環境科学研究科*	地域社会環境学専攻 国際社会環境学専攻	A, (B)	A	—	A
	自然科学研究科*	物質構造科学専攻 機能開発科学専攻 生命科学専攻 システム創成科学専攻 地球環境科学専攻 数理情報科学専攻	A, (B)	A	—	A
専攻科	特殊教育特別専攻科	(B)	B	—	—	
別科	養護教諭特別別科	(C)	C	—	—	
附属研究所	がん研究所 腫瘍分子科学 細胞制御 腫瘍制御	—	—	—	B	

・「—」欄については、受入れを行っていません。

大学教育開放センター 法学部 理学部 医学部保健学科 工学部 原則として資格は一切問いません。

上記各学部・研究科・がん研究所のほか、7つの学内共同教育研究施設(大学教育開放センター、アイソトープ総合センター、遺伝子実験施設、総合情報処理センター、共同研究センター、留学生センター、外国語教育研究センター)・医学部附属病院・がん研究所附属病院などでも受け入れています。

民間企業等で現在研究業務などに従事しておられる方で、共同研究をするために在職のまま金沢大学に派遣される方々。

同 上

民間企業等で現在研究者や技術者として従事しておられる方で、学部を卒業された方やこれと同等以上の学力がある方々。

注4
・「部局等名」において※印を付した部局については、「社会人特別選抜」制度を設けています。出願資格等の詳細は4ページをご覧ください。

注5
・「各制度を利用する際の出願資格等」については、
修士の学位又は同等以上 →A
学士の学位又は同等以上 →B
高等学校卒業又は同等以上→C
で示されています。

注6
・「各制度を利用する際の出願資格等」の中で()を付した記号については、更に他の要件が加わります。特に「大学院博士(後期)課程」欄(医学研究科を除く。)の「正規学生」の「(B)」については、「学部卒業後2年以上の研究歴があり、修士の学位又は同等以上の学力があると出願できる」旨の特例を表しています。

正 規 学 生

正規学生を目指す“社会人”の方を対象とし、一般の志願者とは異なる方法で入学試験を実施する制度として「社会人特別選抜」があります。この選抜においては、小論文や面接を中心に、経験や勉強意欲をみることに主眼が置かれます。——下記左欄の6つの大学院各研究科で実施しています。

なお、一般の志願者と同様に一般選抜を経て学部、大学院等に入学することもできます。

◆社会人特別選抜に係る出願資格

文学研究科 (修士課程)	入学時において、大学卒業後3年以上経過している者 出願期間 12月 選抜期間 1月 入学時期 4月
教育学研究科 (修士課程)	出願時において教員の経験が3年以上ある現職教員 出願期間 9月 選抜期間 9月 入学時期 4月
法学研究科 (修士課程)	出願時に①大学卒業後3年以上経過している者、又は②大学卒業後2年以上継続して職場経験を有する有職者 出願期間 8月 選抜期間 9月 入学時期 4月
経済学研究科 (修士課程)	入学時に①大学卒業後3年を経過している有職者、又は②大学卒業後5年を経過している者 出願期間 9月 選抜期間 10月 入学時期 4月
社会環境科学研究科 (博士課程)	3ページに示す出願資格を有し、入学時に修士課程修了後3年(修士の学位を有しない者は大学卒業後5年)を経ている者 出願期間 1~2月 選抜期間 2月 入学時期 4月
自然科学研究科 (博士前期課程)	出願時に教育研究機関、官公庁、企業等に在職し、所属長(公務員は任命権者)の推薦を得た者で、学士の学位を有するものなど 出願期間 7~8月 選抜期間 8~9月 入学時期 4月
自然科学研究科 (博士後期課程)	出願時に会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の受験許可を受け、かつ修士(場合によっては学士)の学位を有するものなど 出願期間 7月 選抜期間 8月 入学時期 10月 出願期間 12月 選抜期間 1月 入学時期 4月

◆社会人の方が利用できるその他の制度◆ (正規学生関係)

☆ 法学部、理学部、医学部保健学科及び工学部では第3年次編入学制度があります。

☆ 一部の学部においては、学部卒業者を対象に一般選抜とは別に選考する制度(特別選考入学(学士入学))などがありますが、学部によって取扱いが異なります。

☆ 別途、大学院(医学研究科を除く全研究科)では、フルタイムでの修学が困難な方々を対象に、特定の時間又は時期(夏休み等)において、授業や研究指導が受けられる制度(大学院設置基準第14条の特例)があります。

科目等履修生・専攻生・研究生

●科目等履修生

学部や大学院などで開設されている一又は複数の授業科目をパートタイムで履修することができます。なお、通常は試験に合格した方に単位が授与されます。

◆出願期間 <平成10年10月入学の場合>平成10年9月7日(月)~9月14日(月)
<平成11年4月入学の場合>平成11年3月

☆ 修得した単位は、短期大学や高等専門学校の卒業者が学位授与機構(横浜市緑区長津田町)に学士の学位授与を申請するときなどに、正規の単位として取り扱われます。

☆ 大部分の授業科目を履修できますが、実験・実習・卒業研究等の科目については、履修が認められない場合がありますので、お問い合わせください。

●専攻生・研究生

上記のほかに、特定のテーマについて研究する専攻生(学部レベル)・研究生(大学院修士・博士レベル)の制度があります。——いずれも単位は授与されません。

◆出願期間 各学部・研究科ごとに異なります。

公開講座受講生

一般市民の皆様へ大学教育を開放しています。年齢、学歴は問いません。(単位は授与されませんが、★印の講座については、医学部保健学科の科目等履修生として受講すれば単位が授与されます。)

平成10年度の開講予定(9月以降)は下表のとおりです。なお、平成11年度については、前期・後期分ともに平成11年春ごろ明らかになります。

◆大学教育開放センター主催分

(募集期間は各講座ごとに異なります。)

講座名	期間	時間	回数等	会場
計算科学最前線	10.10.17(土)~10.11.28(土)	14:00~16:00	7回	金沢大学大学教育開放センター
★小児対象論 —子どもの発達問題と養育環境—	11. 1. 6(水)~11. 2.17(水)	18:00~19:30 最終日は18:00~19:00	7回	金沢大学医学部保健学科
スイス(学)の魅力	11. 1.23(土)~11. 2.27(土)	14:00~15:30	6回	石川県立社会教育センター
がん予防の食事学	11. 2.13(土)~11. 3.13(土)	14:00~15:30	5回	石川県立社会教育センター

◆各学部主催分

(募集期間は各講座ごとに異なります。)

主催学部	講座名	期間	時間	回数等	会場
法学部	世紀末に生きる —歴史と文化と法—	10. 9.19(土)~10.11.14(土)	14:00~16:00	7回	金沢大学法学部
理学部	現代の生物学 —バイオの時代に生きる—	10.10.16(金)~10.10.18(日)	9:00~17:00	3日間	金沢大学理学部附属臨海実験所
医学部 (保健学科)	現代の細胞生物学と臨床検査	10. 9. 5(土)~10. 9.19(土)	13:00~18:00	3回	金沢大学医学部保健学科
工学部	三次元CAD/CAE —設計と有限要素シミュレーション—	10. 9. 4(金)~10.11. 6(金)	15:00~17:00	8回	金沢大学工学部
	土木建造物の最新の設計及び維持管理技術 —理論と実際—	10. 9. 4(金)~10.10.30(金)	16:00~19:00	7回	金沢大学工学部

◆大学教育開放センター主催・メディア教育開発センター(大学共同利用機関/千葉市)共催分

(募集期間は各講座ごとに異なります。)

講座名(実施大学)	期間	時間	回数等
<テレビ講座> 21世紀日本への展望 —社会・環境・医療— (名古屋大学)	10. 9.11(金)~10.12. 4(金)	10:20~10:50	13回
<ラジオ講座> 21世紀に向けての法 —生活に役立つ法— (金沢大学)	10.10. 3(土)~10.12.26(土)	6:30~ 7:00	13回

(注) テレビ・ラジオ講座は、講師との対話や仲間同士のコミュニケーションを図るために、両講座とも、講師から直接指導を受けられる学習の機会(スクーリング。於：北陸放送(MRO))を用意しています。なお、これらの講座は北陸放送などで放送されます。

研 究 員

●民間等共同研究員

民間企業等から研究者(共同研究員)と研究経費等を受け入れて、民間企業等の研究者と本学の教官とが共通のテーマについて対等の立場で共同して研究を行う制度です。

●受託研究員

民間企業等から現職の研究者・技術者(受託研究員)を受け入れて、大学院レベルの研究の機会を提供し、その能力の一層の向上を図る制度です。

(注) この制度の詳細については、パンフレット「金沢大学の研究協力制度」を作成しておりますのでお問い合わせください。

社会人の入学・受入れ状況

平成10年度（一部については平成9年度の数字です。）

制 度	選抜制度等	社会人 入学者数	年 代 別 内 訳							
			30歳未満	30歳以上	40歳以上	50歳以上	60歳以上	不 明		
正 規 学 生	学 部 学 生	一 般 選 抜	6	2	4	0	0	0		
		編 入 学	6	4	2	0	0	0		
	専 攻 科 学 生	一 般 選 抜	2	1	0	1	0	0		
		一 般 選 抜	9	9	0	0	0	0		
	大 学 院 学 生	修士(博士前期) 課 程	一 般 選 抜	23(6)	15(1)	5(2)	3(3)	0	0	
			社会人特別選抜	6(1)	2	2	1(1)	0	1	
博士(後期) 課 程		一 般 選 抜	9	9	0	0	0	0		
		社会人特別選抜	45(27)	3(1)	23(14)	13(6)	5(5)	1(1)		
科 目 等 履 修 生 等	科 目 等 履 修 生	学部レベル	平成9年度後学期	34(1)	10	10	6(1)	6	2	0
			平成10年度前学期	38(1)	17	13	6(1)	1	1	0
		大学院レベル	平成9年度後学期	10	3	1	2	1	3	0
			平成10年度前学期	8	1	1	3	2	1	0
	専 攻 生	学部レベル	平成9年度後学期	20	1	8	9	2	0	0
			平成10年度前学期	18	1	5	10	2	0	0
	研 究 生	大 学 院 修 士 レベル	平成9年度後学期	12	8	4	0	0	0	0
			平成10年度前学期	14	11	3	0	0	0	0
		大 学 院 博 士 レベル	平成9年度後学期	103	4	2	1	0	0	96
			平成10年度前学期	123	6	2	1	0	0	114
公 開 講 座 受 講 生	平成9年度間	256	28	42	60	47	64	15		
計		742	135	127	116	66	73	225		
研 究 員	民間等共同研究員	平成9年度間	30	(年代別内訳は不明です。)						
	受託研究員	平成9年度間	0							
合 計		772								

備 考

- 「正規学生」欄については、平成10年5月1日現在の入学者数を掲げました。ただし、「社会人」には厳密な定義はないため、上記の「正規学生」欄における「学部学生・一般選抜」については、いわゆる“4浪”以上の入学者数を掲げ、「学部学生・編入学、専攻科及び別科学生、大学院学生・修士課程」については、学部等卒業直後でない入学者数を掲げました。また、「大学院学生・博士課程」については、大学院修士（博士前期）課程修了直後でない者又は修了直後であっても大学院修士（博士前期）課程在学中に企業等に就職していた者を掲げました。
- 「正規学生」欄のうち「大学院学生」欄については、大学院設置基準第14条の特例の適用者数を（ ）中に内数で示しました。
- 「科目等履修生など」欄については、前学期、後学期の入学者があるため、平成9年度後学期については平成9年10月1日現在の、平成10年度前学期については平成10年5月1日現在の在籍者数を掲げました。
- 「科目等履修生」欄のうち「学部レベル」については、特殊教育特別専攻科における科目等履修生の在籍者数をく >中に内数で示しました。
- 「専攻生」欄については、医学部保健学科専修生を含めました。
- 入学するために特定の身分・資格などを必要とする病院研修生など（平成9年度間在籍者数計30名）は本表から除きました。なお、これらを含めた総計は、802名となります。
- 外国人留学生の数は含まれていません。

“社会人”として“入学”された場合の附属図書館の利用について

本学の附属図書館（中央図書館・医学部分館・工学部分館）では、“社会人”として“入学”された方々に、図書貸出しなどのサービスを行っております。

本リーフレットで紹介した各制度で学ぶための費用

(平成10年度)

制 度		費 用
正 規 学 生 (大学院学生)	修士(博士前期)課程	検定料 30,000円 入学料 275,000円 授業料 469,200円(年額)
	博士(後期)課程	
科 目 等 履 修 生	検定料 9,800円 入学料 27,500円 授業料 13,100円(1単位当たり)	
専 攻 生 ・ 研 究 生	検定料 9,800円 入学料 82,500円 授業料 26,100円(月額)	
公 開 講 座 受 講 生	講習料5,400円~8,400円(各講座により異なります。) *テレビ・ラジオ講座は、テキスト代のみ	
民 間 等 共 同 研 究 員	研究料 420,000円(年額)	
受 託 研 究 員	研究料(一般の受託研究員) 長期(6カ月超1年以内) 487,320円 短期(6カ月以内) 243,660円	

(注) 上記の費用は平成11年度入学者から改定される予定です。

お問い合わせは

凡 例 ■ 角間キャンパス ■ 宝町キャンパス ■ 鶴間キャンパス ■ 小立野キャンパス

事 項	お 問 い 合 わ せ 窓 口
全般に関すること	学生部入試課 (076) 264-5180
各部署に関すること	
文学部・文学研究科	文・法・経済学部学生第一係 (076) 264-5455
教育学部・教育学研究科	教育学部学生係 (076) 264-5601
特殊教育特別専攻科・養護教諭特別別科	教育学部学生係 (076) 264-5601
法学部・法学研究科	文・法・経済学部学生第二係 (076) 264-5456
経済学部・経済学研究科	文・法・経済学部学生第三係 (076) 264-5457
理学部	理学部学生係 (076) 264-5630
医学部医学科・医学研究科	医学部(医学科)教務第一係 (076) 265-2126
医学部保健学科	医学部(保健学科)教務第二係 (076) 265-2515
薬学部	薬学部学生係 (076) 234-4496
工学部	工学部学生係 (076) 234-4560
社会環境科学研究科	文・法・経済学部学術研究協力係 (076) 264-5881
自然科学研究科全般に関すること	自然科学研究科事務室 (076) 264-5921
自然科学研究科(博士前期課程)	
数物科学専攻 物質化学専攻 生命・地球学専攻	理学部学生係 (076) 264-5630
生命薬学専攻 医療薬学専攻	薬学部学生係 (076) 234-4496
物質工学専攻 機械科学専攻 環境基盤工学専攻 電子情報システム専攻	工学部学生係 (076) 234-4560
自然科学研究科(博士後期課程)	
物質構造科学専攻 数理情報科学専攻	理学部学生係 (076) 264-5630
生命科学専攻	薬学部学生係 (076) 234-4496
機能開発科学専攻 システム創成科学専攻 地球環境科学専攻	工学部学生係 (076) 234-4560
教養教育機構(教養的科目)	庶務部企画室学生第一係 (076) 264-5758
がん研究所	がん研究所庶務係 (076) 265-2799
公開講座の受講に関すること	大学教育開放センター (076) 264-5271
民間等共同研究員・受託研究員に関すること	庶務部庶務課研究協力・広報係 (076) 264-5019
電話番号に関するお問い合わせ、その他	各部局の会計(経理)係 (各部局(学内共同教育研究施設を含む。)の電話番号のお問い合わせについては下欄参照) 庶務部庶務課総務係 (076) 264-5111

平成10年9月発行
編集 金沢大学庶務部庶務課
所在地 〒920-1192 金沢市角間町
E-mail jso5014@ad.kanazawa-u.ac.jp

TEL (076) 264-5014
FAX (076) 234-4010

このリーフレットの掲載内容及び最新のニュース等については、「金沢大学ホームページ」でもご覧いただけます。
(アドレス <http://www.kanazawa-u.ac.jp>)